

# 一緒に学ぼう！ 池子の森

池子の森の返還は逗子市民の願い 柏原村の歴史編

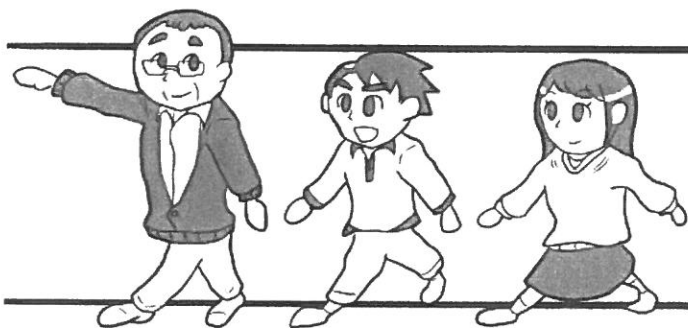
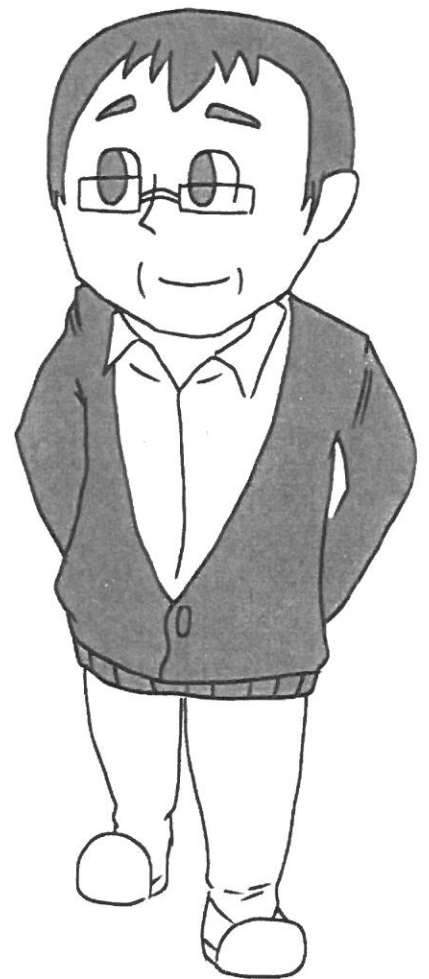
職員さん



緑さん

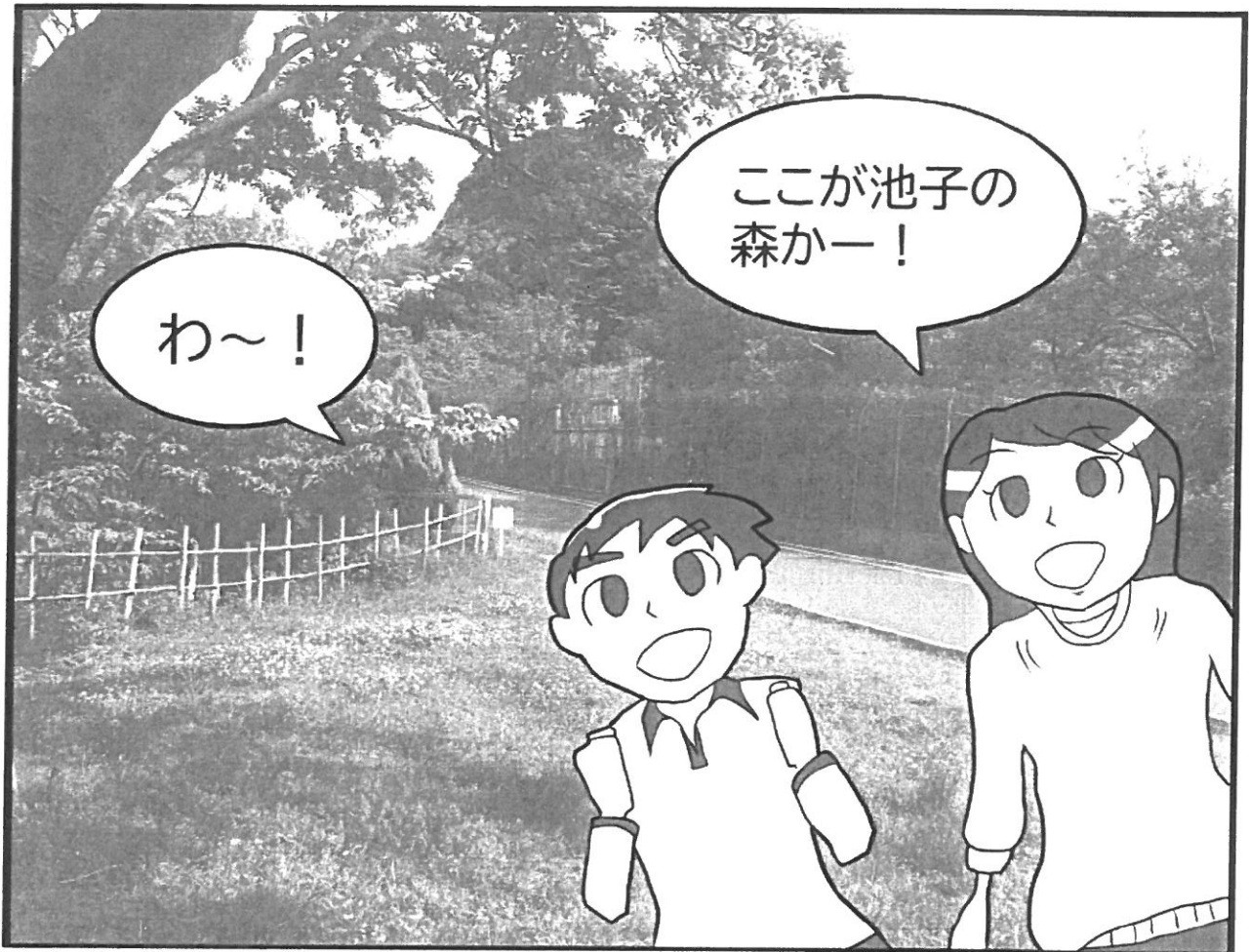


海さん



今日、海さんと緑さんは職員さんと一緒に、池子の森自然公園を訪れています。

逗子市池子接收地返還促進市民協議会

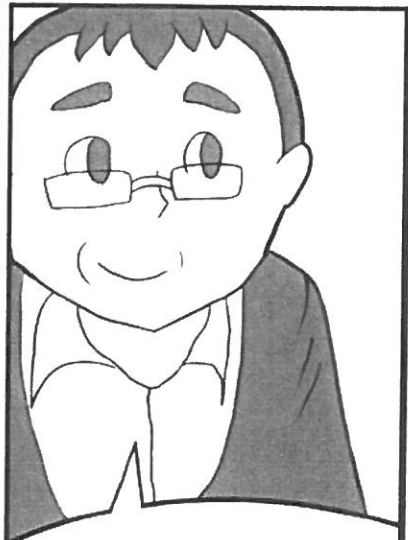


わ〜!

ここが池子の森かー!



池子の森自然公園は「共同使用」※  
といって、市民と米軍の人たちが一緒に  
使う公園として2015年2月にオープン  
したけれど、その前は米軍の人たち  
だけが使う施設として市民は入ることは  
できなかったんだ。さらに、もっと昔に  
は昔の日本海軍や米軍が戦争で使う  
火薬などをしまっておく弾薬庫として  
使っていた歴史もあるんだ。



今日は、はじめてに  
池子の森の歴史を  
簡単に紹介するね。



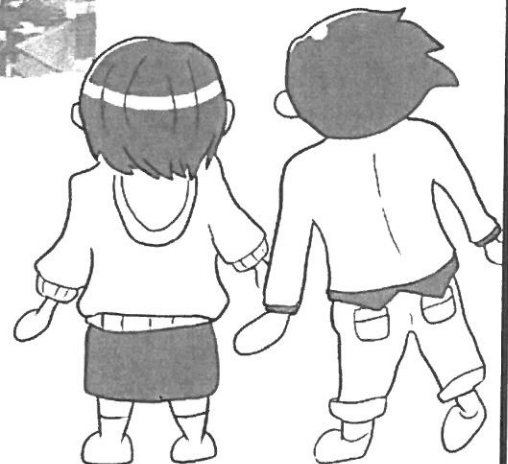
池子の森には第二次世界大戦前の1938年から昔の日本海軍が当時ここに住んでいた人達を別の場所に強制的に移住させて弾薬庫を造ったんだ。周りは塀や柵で囲まれて自由に入ることとはできなくなってしまったんだよ。1945年に戦争が終わってからは米軍が続けて使っていたんだけど、1954年に「池子の森を返してもらおう」という返還運動が逗子全体で始まったんだ。



▲1970年頃の池子の森。東西に走る京浜急行逗子線



▲池子の森上空から（現在）



弾薬庫は1978年には使われなくなったので、市は全部を返してほしいと国に求めていたんだけど、1982年にはここに米軍家族のための住宅を建設する計画がもちあがったんだ。これがきっかけになって、建設計画の中止を求める運動が市全体に広がっていったんだよ。



反対運動や、国との話し合いを行ってきた中で、1984年に市は「33項目の条件」※をつけて、やむを得ず住宅建設を受け入れることにしたんだけど

賛成する人達

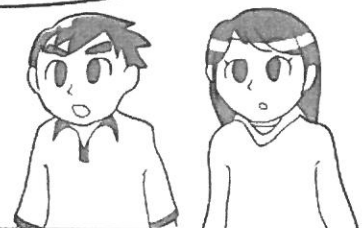


反対する人達



それに対して、反対する人と賛成する人がいて、市を2つに分けるような大きな問題になったんだよ。


市は米軍家族住宅の建設に反対し続けていたけれど、国は、1989年に建設工事を始めたんだよ。残念だけど、市には建設を止めることはできなかったんだね。





1996年4月には米軍家族住宅への入居が始まり、今では3,000人位の米軍の人たちが住んでいて、フレンドシップデーをはじめとして市民との交流もいろいろ行われているんだ。

## イケゴ フレンドシップデー



私もフレンドシップデーに行ったことがあるよ。沢山の人が来てたなー。

今はみんなが自由に  
使っている公園だけど、  
そんな歴史があったんだね。

全然知らな  
かったよ。

実は、今から80年位前まで  
は、今、この公園がある場所  
や、米軍の人たちの住宅が  
建っている場所にも人が  
住んでいて、日々の暮らしが  
あったんだ。

今日はその頃に、今の緑地  
エリアがある場所に実際に  
住んでいたSさんと、池子側  
(今の神武寺駅のそば)に住ん  
でいたIさん、Oさんに来てい  
ただいたので、お話を聞いて  
みよう。

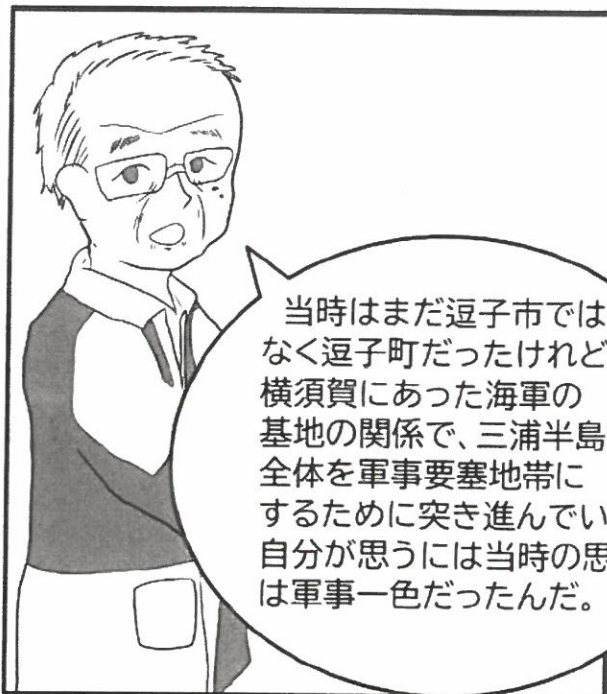
こんにちは  
今日はよろしくお願いします。

Sさん

Iさん

Oさん

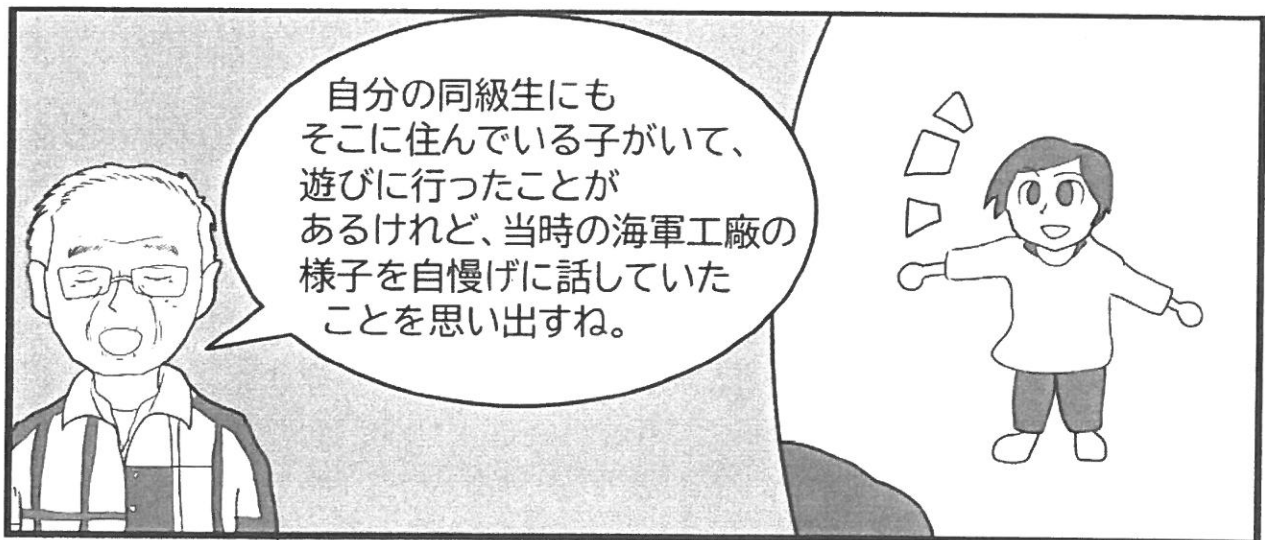
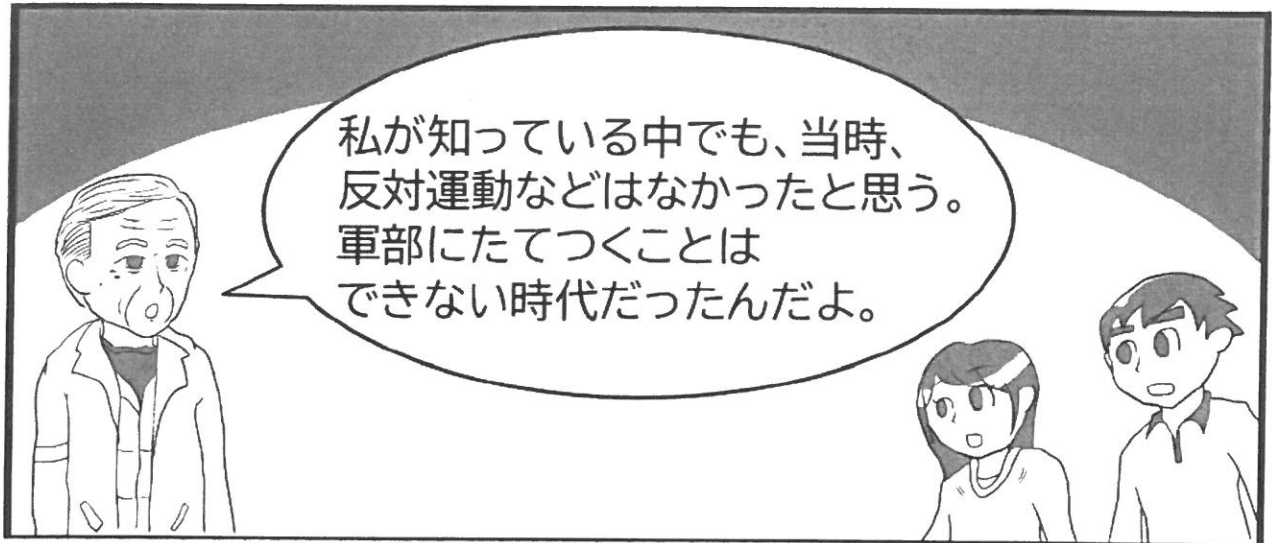
ペコリ  
よろしく  
お願いします。



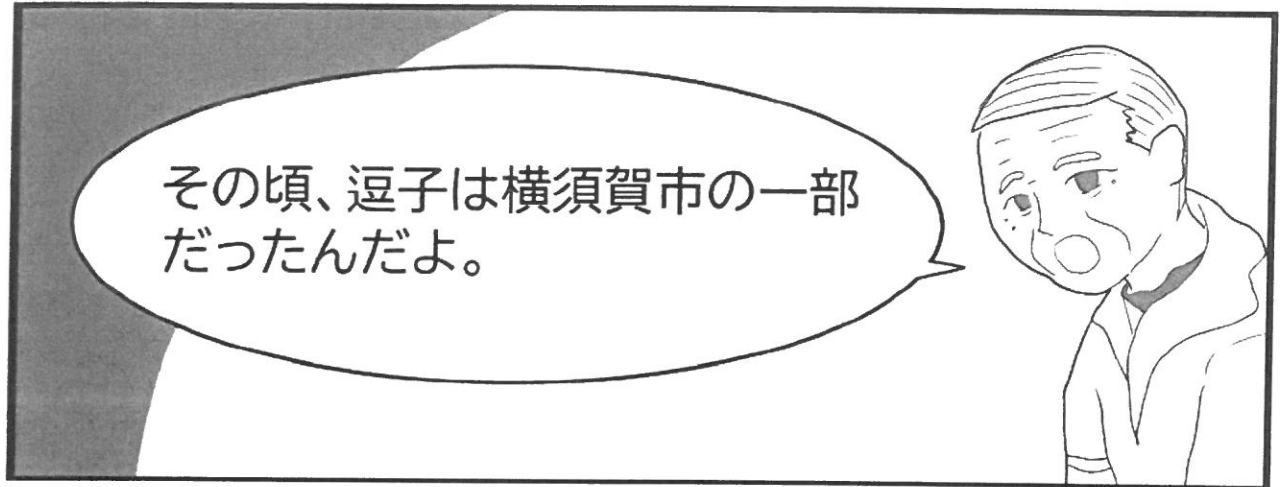
自分が子供の頃は、仕事をするには軍隊に行くか海軍工廠※へ勤務するか、その二つ位しかなかったように憶えている。軍事関係の産業に携わっている町民が多くて、今では想像もつかないけれど、食べるよりとにかく軍事産業ということで、海軍工廠に通う方が最優先されていたんだ。

農業や漁業に比べても何倍かの収入が得られるので、久木、小坪、沼間の人たち、ことに沼間の人たちは交通が不便だったけれど、当時は電車に乗らずに山を越して横須賀の海軍工廠へ通ったという話を、子どもの頃にずいぶん聞いたことがあるよ。

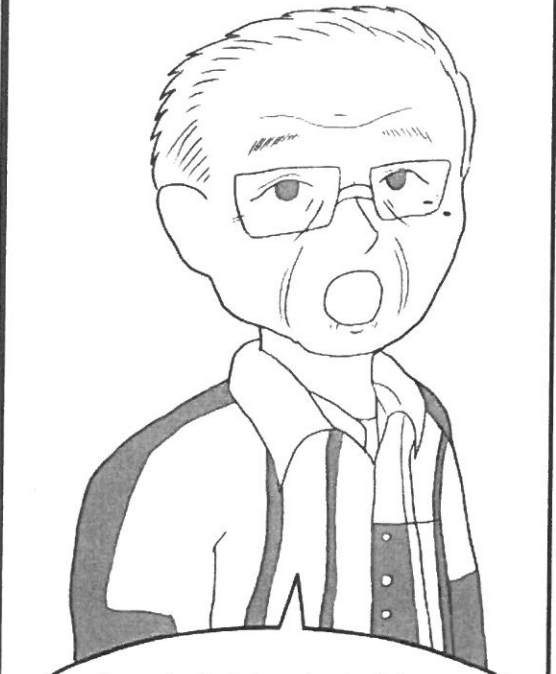




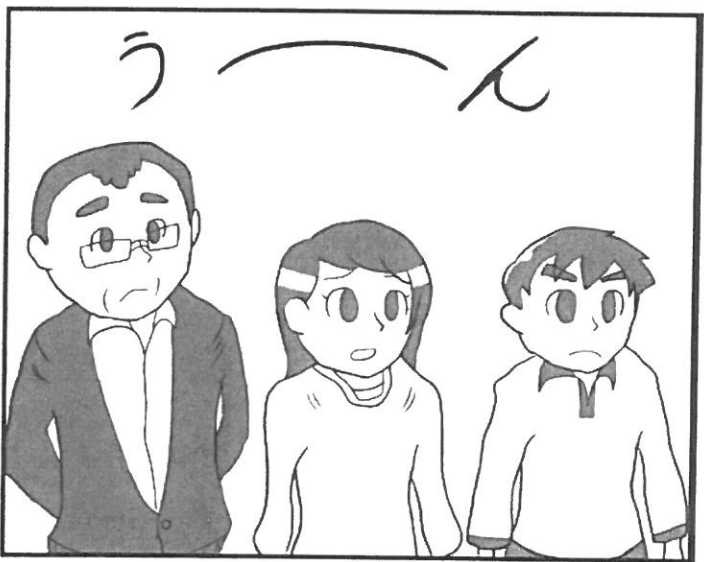




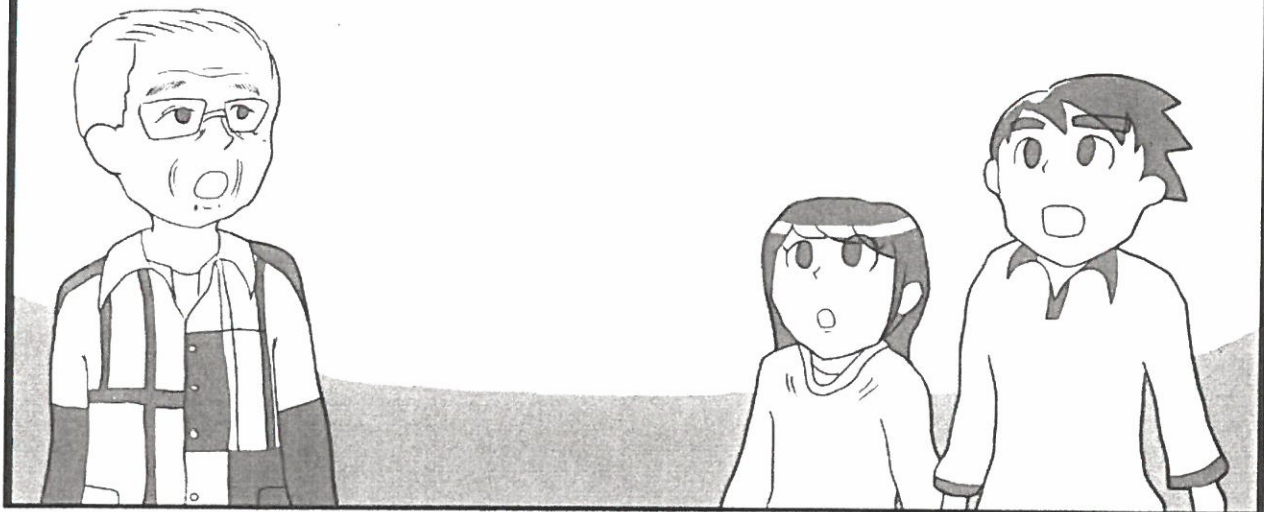
1943年に、当時の逗子町が  
軍部によって横須賀市に  
強制的に合併されたことが  
あったんだ。



さっきも言ったように、  
当時は政府、特に海軍が言  
っていることに関しては、  
異議申し立てや反対という  
ことを口にも出せなければ、  
態度にも出せないような社会  
の状況だったんだよ。



私が当時、親や大人たちから聞いていたのは  
軍事施設を造る材料と人手不足が関係して  
いて、日本は普通の建物を建てることもでき  
ない状況になっていたんだ。そこで、この辺  
には昔から生活に使っていた「やぐら」※  
というものがあって、それに軍部が目を付け、  
穴を開けて中に工場を造ったらいい、という  
ような考え方で始まったんだ。



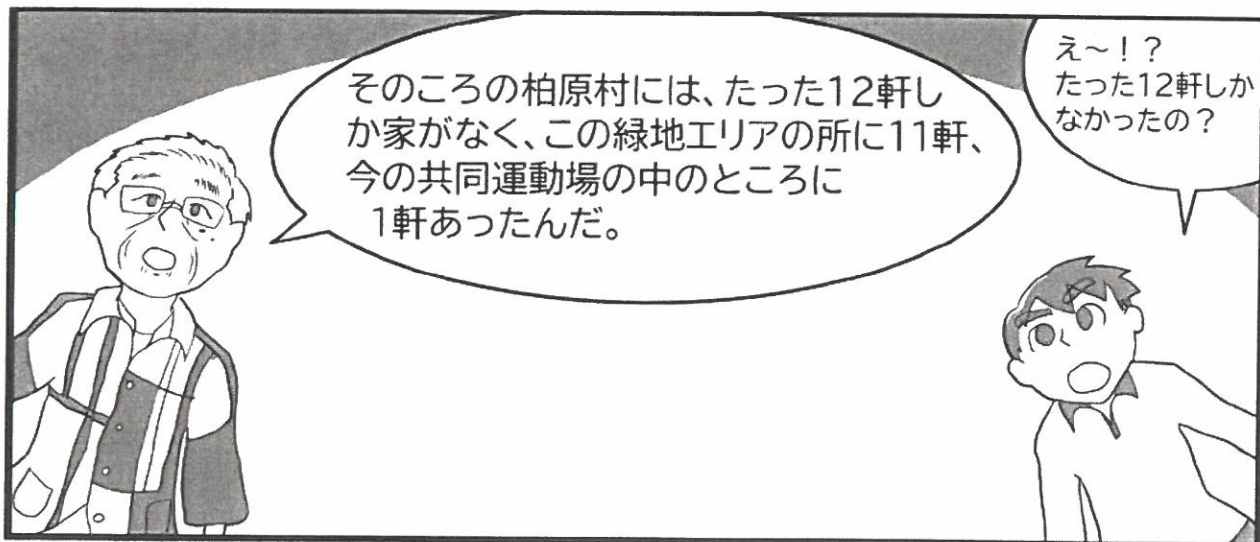
弾薬庫を作る工場には、朝鮮  
半島出身の人たちがたくさん雇  
われていて、当時、その人たちは  
今の神武寺駅のそばに大勢住ん  
でいたんだけど、今は全く面影は  
ないね。

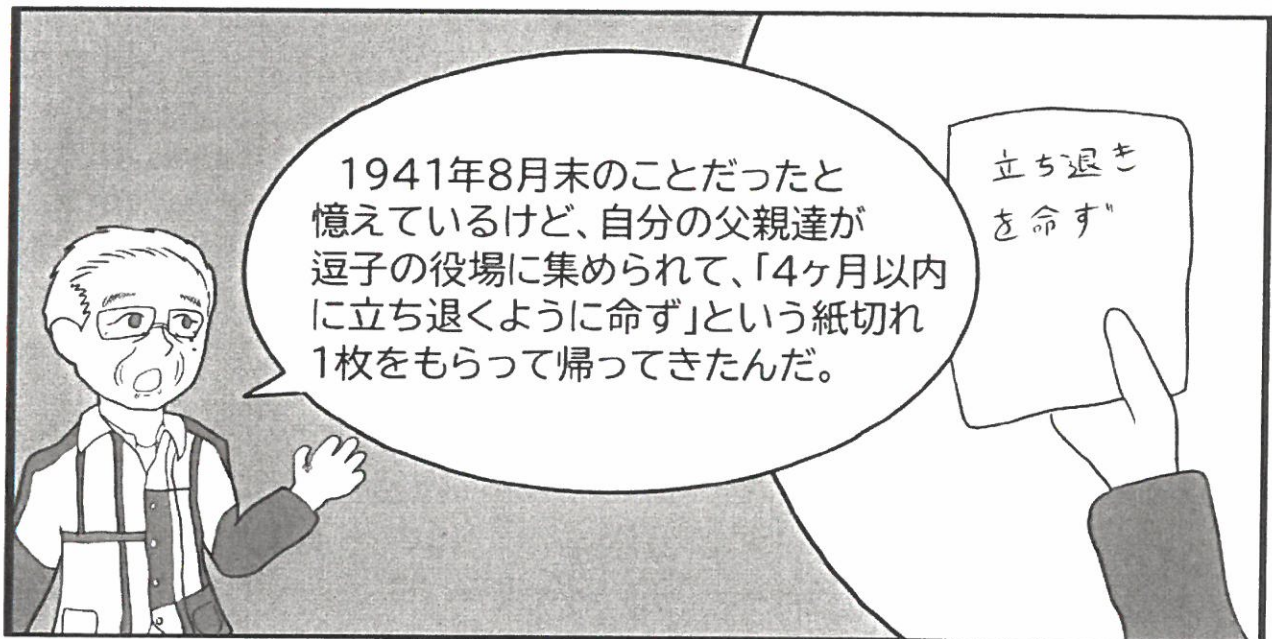


・現在の神武寺駅の写真

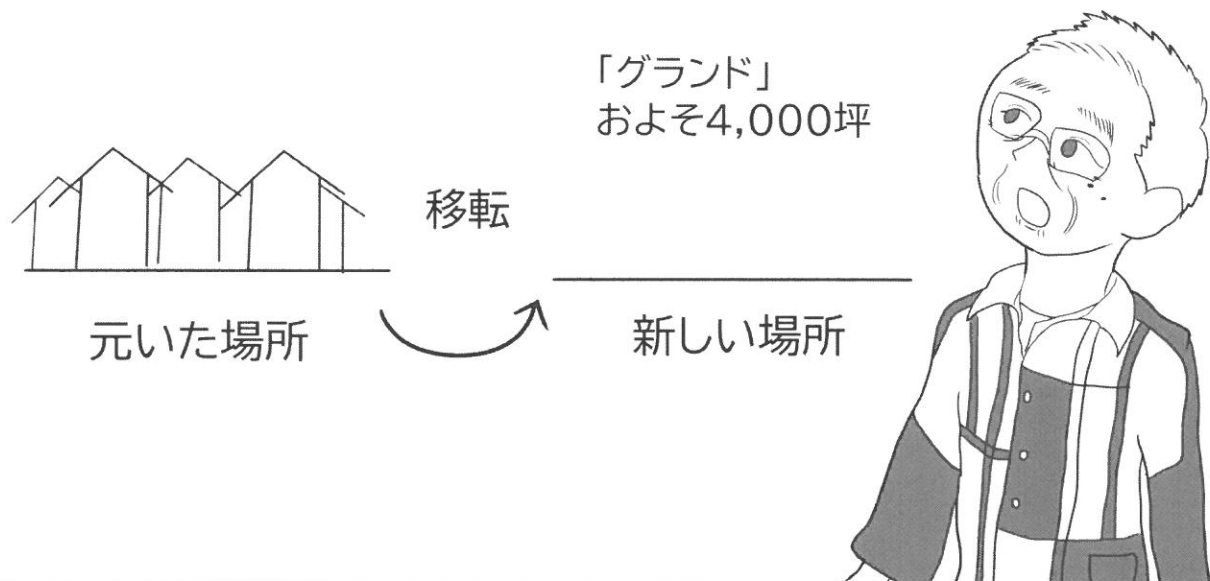


弾薬庫ができた後は、  
山の上に見張りの小屋があって、  
横須賀の海軍の基地から来た  
水兵が軍用犬を連れて、一日に  
何回も見回って見張りをしていた  
ことを憶えているよ。





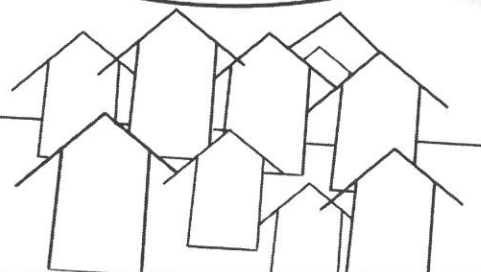
そして、実際に移転するとなると、12軒はそれぞれ様々な経済状況だったそうだけど、当時、今の久木3丁目に「グランド」と呼ばれる4,000坪くらいの広い空き地があったので、そこに皆でまとまって引っ越そうということで、私の父親が代表して交渉に行ったんだ。



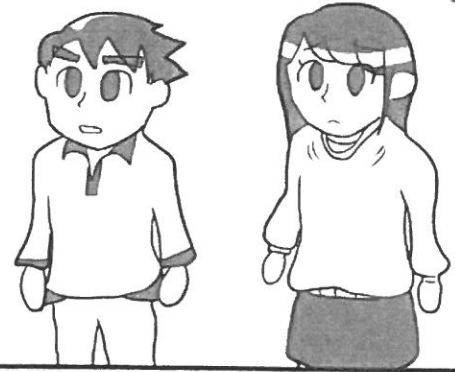
その土地を持っている人がなかなか承諾してくれなくて、「8月末から4か月以内に立ち退きを命ず」という紙切れをもらっているにもかかわらず、すでに1か月半が過ぎてしまった。

立ち退きを命ず

そういう経過があって、海軍工廠の人や県からも応援を得て、ようやく承諾してもらって、10軒がまとまってそこへ移転したんだ。偶然にもそんな土地があったんだね。

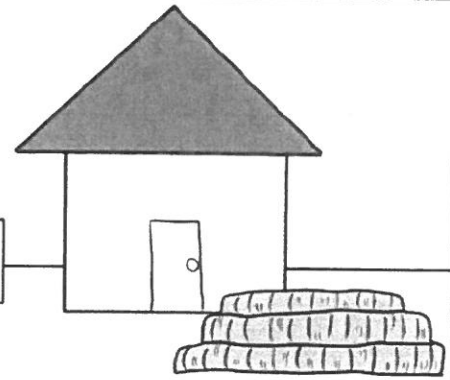


だけど、兵役にちょうどよい年代だった近所のおじさん達は戦争に行くことになって、半数以上もの人が帰らぬ人となってしまったんだ。だから、そういう人たちは引っ越した後、完成した、新しい家に入ることができなかったんだよ。



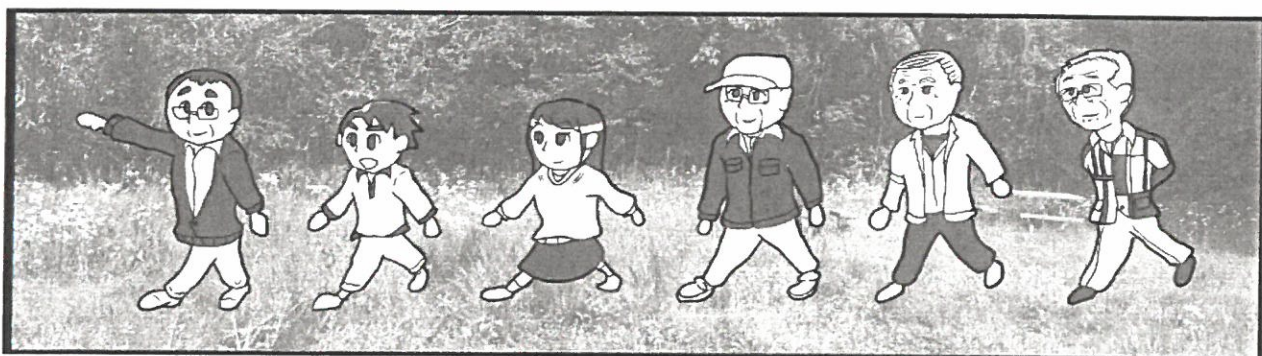
建築といっても、もう金物はないし、材料もよい材料は軍が使ってしまってほとんどないので、引っ越しと同時に、自分が所有している木を急いで伐採して持ち出すという作業もやって、やっと家を建てることができたんだ。

建築中



それも、建築している途中で職人が戦争に召集されていなくなってしまうというようなこともあり、主も戦死してしまい建築も途絶えていたのを、戦後になってようやく完成させて落ちついたという人が半数だった。そんな状況だったんだよ。





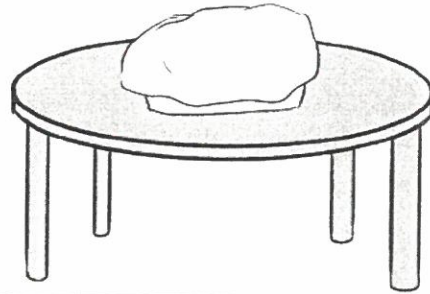
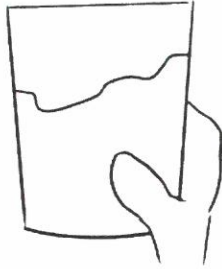
ここでどのように暮らしていたんですか？



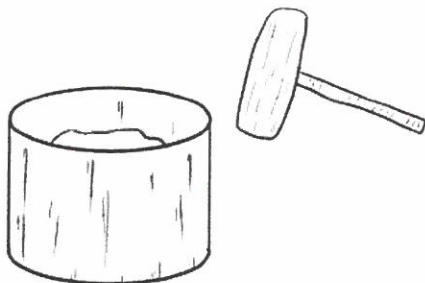
私はこの家で生まれたんですけど、子どもの頃は家に鍵がかかっていたのを見たことがなかったね。



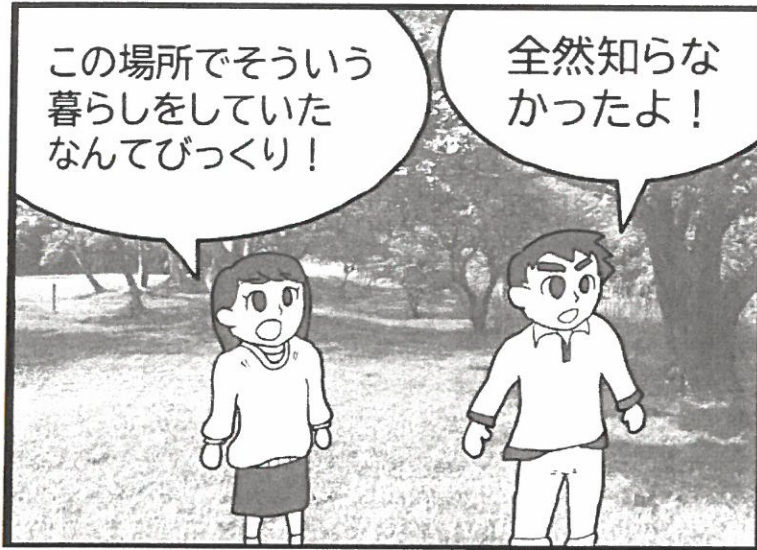
いつ行っても家は開いていたので、のどが渴けば台所に行って水をもらう、ちゃぶ台の上に何か食べる物があれば、布巾をどかしてつまんで出てくるというような、のんびりとした雰囲気の家だったんだ。



その頃の柏原村は、12軒が分け隔てなく共同生活しているようなもので、暮れになると4日も5日も共同で餅つきを行ったので、その間一週間位はお餅ばかり食べていたし、お年寄り達がお餅を煎餅やかき餅・あられのような物に加工して、それを保存食にしたり子ども達がお菓子として食べていたんだ。また、農作物もたくさん収穫できたので、鎌倉や葉山の別荘へ売りに行ったりしていたんだよ。







# 用語集

## ※1【共同使用】

きょうどうしゅう  
米軍が使用している施設や区域のうち、一時的に米軍が使用しない  
べいぐん しゅう しせつ くいき いちじてき べいぐん しゅう  
ぶぶん べいぐん しせつ にほんこく こくみん  
部分を米軍の施設のまま、日本国や国民に使用させること。

## ※2【33項目の条件】

こうもく じょうけん  
市が米軍家族住宅の建設を受け入れる代わりに、国に要求した  
し べいぐんかぞくじゅうたく けんせつ う い か くに ようきゅう  
33個の条件。弾薬庫としての使用禁止や弾薬庫という名前の変更、  
こ じょうけん だんやくこ しょうきんし だんやくこ なまえ へんこう  
ぶん かいかん たいいくかん けんせつ  
文化会館や体育館の建設などがある。

## ※3【三者合意】

さんしゃごうい  
問題の解決に向けて、市が米軍住宅の建設を受け入れたときに  
もんだい かいけつ む し べいぐんじゅうたく けんせつ う い  
むす くに かながわけん ずしし さんしゃ ごうい  
結んだ、国、神奈川県、逗子市の三者による合意。

かいぐんこうしょう  
※4【海軍工廠】

かいぐん かんせん へいき だんやく せいぞう しゅうり こうにゆう じっけん おこな  
海軍の艦船・兵器・弾薬などの製造・修理・購入・実験などを行う  
しせつ きゆうにほんかいぐん よこすか くれ させぼ まいづる かくぐんこう せっち  
施設。旧日本海軍では、横須賀・呉・佐世保・舞鶴の各軍港に設置さ  
れていた。

※5【やぐら】

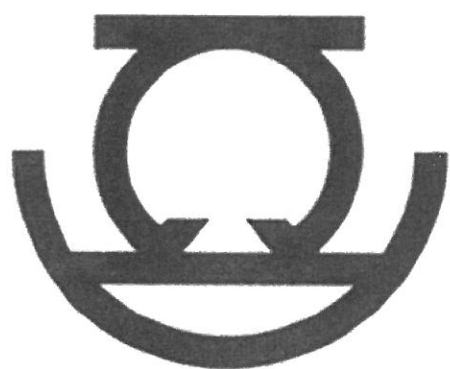
たにま しゃめん がんべき あな もの ちよぞう ばしょ  
1. 谷間の斜面の岩壁に穴をあけて物を貯蔵する場所としたもの。

いわむろ。

かまくら むるまちじだい さんぶく よこあなしき はか かながわけんかまくらし  
2. 鎌倉・室町時代に山腹につくった横穴式の墓。神奈川県鎌倉市

ふきん おお み  
付近に多く見られる。塚穴(つかあな)。

池子の森の歴史についての  
詳しい情報は  
逗子市のホームページ  
《逗子市の基地対策》  
を見てね！



逗子市池子接收地  
返還促進市民協議会



関東学院大学

発行：逗子市池子接收地返還促進市民協議会  
制作：関東学院大学 一次創作部コミ缶  
萩野 晃樹・但野 萌